



2022年7月8日

各 位

会 社 名 株式会社協和コンサルタンツ
代表者名 代表取締役社長 山本 満
(コード番号：9647 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員統括本部経営管理室長
黒瀬 雅弘
電 話 03-3376-3171

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年1月14日に公表いたしました2022年11月期の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年11月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2021年12月1日～2022年5月31日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|--------------------------|-----------------|
| | | | | | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,100 | 380 | 370 | 200 | 341.97 |
| 今回修正予想(B) | 4,297 | 476 | 468 | 297 | 507.83 |
| 増減額(B-A) | 197 | 96 | 98 | 97 | |
| 増減率(%) | 4.8 | 25.3 | 26.5 | 48.5 | |
| (ご参考)前期実績 (2021年11月期第2四半期) | 4,796 | 633 | 623 | 390 | 668.22 |

※当社グループは、2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。これに伴い、上記(A)(B)の各数値は当該会計基準等を適用後のもの、前期実績の各数値は適用前のものとなっておりますのでご注意ください。

2. 連結業績の修正の理由

個別業績に記載の修正理由に加え、連結子会社が担当する情報処理事業において、期内受注高に占める期内完工案件が増加したことにより、売上高と売上総利益が増加し、連結業績で期初予想を上回る見通しとなりました。

なお、今後の受注状況を慎重に見極める必要があるため、現時点においては通期業績を修正いたしません。開示ルールに則って適切に対応することとさせていただきます。

(2) 2022年11月期第2四半期(累計)個別業績予想の修正(2021年12月1日~2022年5月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|------|--------|-----------------|
| | | | | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,200 | 340 | 190 | 324.87 |
| 今回修正予想(B) | 3,305 | 407 | 273 | 466.79 |
| 増減額(B-A) | 105 | 67 | 83 | |
| 増減率(%) | 3.3 | 19.7 | 43.7 | |
| (ご参考)前期実績 (2021年11月期第2四半期) | 3,978 | 501 | 331 | 566.74 |

※当社グループは、2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。これに伴い、上記(A)(B)の各数値は当該会計基準等を適用後のもの、前期実績の各数値は適用前のものとなっておりますのでご注意ください。

3. 個別業績の修正の理由

個別業績は以下の理由により期初予想を上回る見通しです。

なお、今後の受注状況を慎重に見極める必要があるため、現時点においては通期業績を修正いたしません。開示ルールに則って適切に対応することとさせていただきます。

- (1) 期初計画を上回る受注を達成したことにより売上高が増加したことに加え、WEB会議システムの積極活用等による旅費交通費の削減や、複写印刷費をはじめとするその他原価においてもコスト削減に努めた結果、売上総利益が増加しました。
- (2) 一般管理費についても、原価部門と同様にコスト削減に努めた結果、低減することができました。

(注) 上記の予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上